



目が見えるのはどうして

目のしくみは

目は、ボールのような丸い形をしており、目玉、眼球などと、よばれています。

目のしくみは、カメラのしくみによく似ています。カメラと同じように、目にもレンズがあり、水晶体とよばれています。そこを光が通って、眼球のおくにある網膜というところに像を結び、外のようすをはっきり映し出すので、物を見ることができるのです。

物を見ているのは、脳のはたらき

目のレンズのはたらきをしている水晶体は、弾力のある凸レンズのような形をしています。毛様筋という筋肉ののび縮みで、水晶体の厚さは変わり、光の通り方を調節して、見たものが、網膜にはっきりと映るようになっています。

網膜は、眼球のおくにあリ、写真のフィルムのようなはたらきをしています。この網膜が光や色を感じると、神経を通して脳に伝わります。それで、物が見えるという感覚が起こり、物が見えたことになるのです。（監修・保志 宏）

目で物が見えるしくみ

